

# 初石駅橋上駅舎及び自由通路の工事説明会 説明内容

令和5年12月17日（日）午後7：00～ 初石公民館 ホール

令和5年12月20日（水）午後7：00～ 初石公民館 ホール

【0ページ】は、配布資料のページ数を示す

1. の経緯と、2. の整備概要については、これまでの意見交換会と重複してしまいますので、予めご了承ください。

【2ページ】

（これまでの経過について、説明）

初石駅の東口開設の経緯は、さかのぼれば、昭和50年代の「まちづくり勉強会」や、平成元年に発足した「東初石3丁目まちづくり勉強会」において、初石駅東口区画整理事業が検討された経緯を踏まえ、平成13年には「東初石地区自治会連絡協議会」から東口開設に関する要望書が提出されるなど、これまで地元住民をはじめとする多くの方々の、長年にわたる努力・要望・協力によって、ようやく実現に向けた工事着手を迎えようとしています。

近年では、平成28年から、皆様との意見交換を複数回、継続して行っており、平成30年6月には、地元の皆様からの1万2千件を超える署名を受領し、同月、署名の意を汲んだ要望書を、市長自ら東武鉄道株式会社に提出しました。

その後も、平成30年9月、令和2年7月、令和4年3月、令和5年7月と、意見交換を行ってきました。

そして今年、令和5年7月20日に、東武鉄道（株）様と「橋上化及び自由通路整備に関する施行協定」の締結に至ったところです。

最近の動きとしては、自由通路等の工事着手に向け、東武ストア駐車をパチンコメジャーと郵便局の間に仮移転しました。

利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

【3ページ】

（橋上駅舎及び自由通路、東口駅前広場、西口駅前広場（暫定）の整備概要を説明）  
位置関係を整理すると、図面の中心が、現在の初石駅になります。

左側が江戸川台駅方面、右側がおおたかの森駅方面となりますので、上が東口、下が西口です。

現在の改札から見ると、おおたかの森駅側に、コの字型で自由通路、そして橋上駅舎が整備されます（江戸川台駅や運河駅と同様の形）。

#### 【4 ページ】

（橋上駅舎と自由通路の整備内容を説明）

自由通路には、両側に、エレベーター、上りエスカレーターを整備します。

そこから繋がる橋上駅舎には、改札、駅事務室、トイレ、ホームからの上りエスカレーターを整備します。

#### 【5 ページ】

（東口駅前広場の整備内容を説明）

東口駅前広場は、防災機能を兼ねた、歩行者を中心とした広場になります。

私道の非常に多い東口については、これまでの意見交換会や周辺自治会との協議を踏まえ、今まで説明してきたように、交通量の増加を抑制するため、ロータリーや停車スペースを設けません。

警察からは、安全対策や送迎車両対策について、規制ではなく、看板や路面標示による注意喚起が適切とのアドバイスをいただいています。

また、広場には、防災倉庫やマンホールトイレの配置を予定しており、概ね400人の方が避難可能となる予定です。

広場の南側（図面で言うと右側）には、シルバー人材センターのある踏切まで2m幅の歩道を整備する方向で、東武鉄道(株)と協議を進めています。

広場の北側には、カラー舗装による歩行空間を、視覚的に確保する予定です。

植栽を適所に配置し、駅前にふさわしい景観となるよう整備していきます。

#### 【6 ページ】

（西口駅前広場（暫定整備）の整備内容を説明）

自由通路が供用開始された時点の、暫定的な整備です。

限られた用地の中で、今回の整備の主な目的は、駅前利用者の安全を確保するため、歩行者と車両を物理的に分離することです。

あわせて、企業バス利用者の待機場所についても、可能な限り配慮しています。

橋上駅舎の整備により不要となる、現在の駅舎やトイレの部分を広場拡張のため利

用できないか、東武鉄道(株)と協議を継続しています。

**【7ページ】**

(配置図を用いて、現在の初石駅と新設する自由通路および橋上駅舎との位置関係を説明)

**【8ページ】**

(写真を用いて、現在の初石駅と新設する自由通路および橋上駅舎との位置関係を説明)

**【9ページ】**

(イメージパースを用いて、西口側から見たデザインイメージを説明)

周辺の街並みとの調和を意識し、全体をアースカラー（地球の大地や植物など自然を彷彿させる色）でまとめています。

**【10ページ】**

(イメージパースを用いて、東口側から見たデザインイメージを説明)

西口側と同じコンセプトのデザインとしています。

**【11ページ】**

(平面図を用いて、整備する設備のレイアウトについて説明)

**【12ページ】**

(配置図を用いて、工事車両等の搬入ルートについて説明)

基本的に県道47号線（守谷流山線）から西口側、東口側へ進入します。

**【13ページ】**

(配置図を用いて工事ヤードについて説明)

**【14ページ】**

(工程表を用いて、工程を説明)

自由通路および橋上駅舎工事は、令和6年1月に着工し、令和7年12月までに完成予定です。

駅舎を供用開始後、現在の駅舎を撤去し、令和8年3月に工事完了予定です。

【15ページ】

(工事車両通行の留意点、工事を行う曜日、夜間工事、使用する機械について説明)

【16ページ】

(今後の全体スケジュールを説明)

令和7年度までに先ほど説明しました橋上駅舎及び自由通路の工事を行います。

そして、東口駅前広場の工事及び西口駅前広場(暫定)の工事を行います。

令和6年度以降については、西口駅前広場(将来的な計画)の基本設計を行う予定です。

西口駅前広場の将来的な計画については、どのような構想とするか、またその範囲をどう考えるか、東武鉄道(株)と調整を図り、関係権利者や地元の皆様と協議し、進めていきたいと考えています。